

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www.hokjioka.net>

E-mail : codmokan@agate.plala.or.jp

支援会員・寄金 3,000円 (年額)
*会員には、本通信を配布します。



《写真説明》

< 5/19・農業実習 in 余市 >
本年度の農業/もの作り、5/13に
畑起し/耕作&肥料+畝作り実施。
1週後に苗植えを実施しました。
(月寒スクールは種から育苗中)

■■ INDEX ■■

- P1: 巻頭言
- P2: ヒューマントラスト 会費・集金
- p3: ↓ (スクールの登校対応)
- p4-5: 認定NPO 総会/決算・方針
- p6: スクール授業から: 歴史・理科
- p7: ↓ :もの作り/農業
- p8: エッセー、カレンダー、後記
-
- (チラシ:企画など)

子どもたちとともに「新型コロナ危機」から多くの学びを！

月寒スクール学園長 大塚 勲 (認定NPO 法人代表理事)

“憲法・47 教育基本法・子どもの権利条約をまもり、生かそう”をスローガンに掲げる『子どもと教育・文化 道民の会』から最近届いた会報44号(コロナ特集)から、特に心に響いた2人の言葉(一部)を紹介したい。

先ず、この会の共同代表の河野和枝さんは、「未来を生きる子どもたちには、この経験知《人類史上初の新型コロナウイルス対策の経験》を残すことができる。だからこそ…わたしたちは、子どもにとっての〈最善の利益〉を実行しなければならない」と訴える。

また、東海大学札幌キャンパスの塚本智宏さんは、「こういった機会だからこそ学ぶことはある…〈どんな大人が子供のことを信頼し共に学ぶことをすすめてくれたのか〉〈いかにして現在差別的な発言が現れるのか〉〈どんな人たちのことを想像して共に生きながらえることを考えるべきか〉…」
「(子どもたちは)単に未来のためにお勉強しているだけの存在ではない。現在に生きて生活して闘い、この社会をつくっている人間たちなのである。どうやってこの困難な時期を乗り越えたのか、それを50年後語れるのは彼らだけである。」と述べる。

自由が丘が子ども達と共にどんな学びをつくっていくのかと問われた思いであった。

世界も日本も、そして大人も子どもも、未知の危機や困難に遭遇した今だからこそ学べるものが多いはずで、それは教科書的な学びを取り戻すこと以上に大事なこともかもしれない。

自由が丘スクールでは、1学期の授業テーマとして「感染症の歴史」や「SDGs17の目標」を取り上げてスタートしているが、更に“子どもが主人公”を貫きながら子ども達の今にふさわしい、かつ未来を生きる力の源となるような学びを作り出していきたい。